

令和 6 年度 後期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

目 次

- 1 はじめに
- 2 全体の概要
- 3 全体の集計結果
- 4 対象となる授業一覧
- 5 資料
 - 5－1 授業評価票（別紙 1）
 - 5－2 自己点検レポート（サンプル）（別紙 2）

1 はじめに

本報告書は、令和6年度 後期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。非常勤講師を含めた全教員の担当科目を対象に授業評価を行った。

授業評価アンケートは、オンライン上で実施することとし、Google フォームを利用したアンケート作成と、G Suite 上 classroom を利用してのアンケート配信を実施した。個々の授業科目ごとのデータ処理は Google フォームアンケートの機能を利用し、全体の集計は、個々のエクセルデータを統括し算出した。

今年度の授業評価アンケートは、調査項目の見直しを行い次のように変更した。総項目数は昨年度同様の13項目、新規項目として「興味・関心」「到達目標」「満足度」を追加し、「創意工夫」「授業時間」「薦めるか」を削除した。

専任教員による実施状況は、アンケート調査及び自己点検レポート作成において一定の作業効率を円滑に行うことができた。一方、非常勤講師においては、円滑な実施ができた教員と本委員のサポートの中で実施した教員と別れる結果となった。一定の作業システムの認知は3年目を迎えるにあたり、効果があるものの共有データ複製が上手く実行できないこともあり、今後も何らかの対応策を講じる必要があるものと思われる。学生へのアンケート調査において、ペーパーレス化を試み、Google フォームアンケート機能の活用に展開しているが、回答率が紙媒体より低下している点は検討を講じる必要がある。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成20年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的

本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学習態度の反省と学習意欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、出席状況や学習に対する意欲、課外学習の状況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクシ

ョンとの 2 部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、教員が任意に設問を追加することもできる。さらに、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

個々の授業別結果は、回答後すぐにグラフ化されたデータを見ることが可能となり、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。全体のデータは、個々のデータをまとめた集計結果を算出し、各授業の各項目について、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出(サンプルは別紙 3)する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを 200 字程度のレポートにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の点について自己点検することになっている。

- 1 前回と比較して、今回の授業評価結果について分析し、その結果を踏まえて、今後の授業改善に向けての具体的な取り組みを記入してください。
- 2 シラバスに記載された学修到達目標に対する学生の到達度の状況を記入してください。
- 3 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題及び、今回の授業評価の実施方法等に関する意見。

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データと印刷物として学内で保管されており、自由に閲覧が可能である。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の WEB で公開している。

3 全体の集計結果

令和 6 年度前期の授業評価の全体の結果は、全ての設問である 12 項目において肯定的な 1・2 の回答が 87%以上を占めており、総体として評価は良いと言える。この度の調査表件数は 1767 件である。

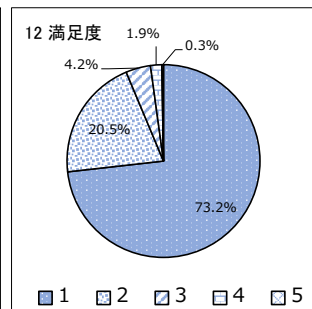
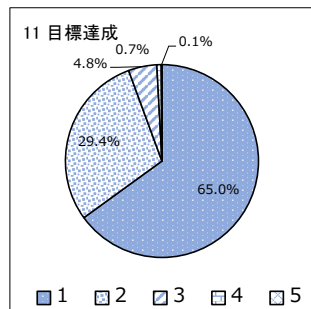
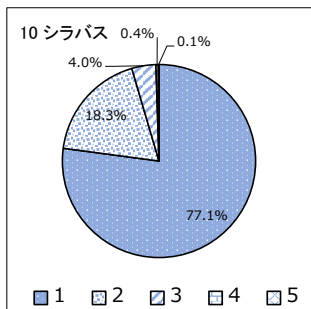
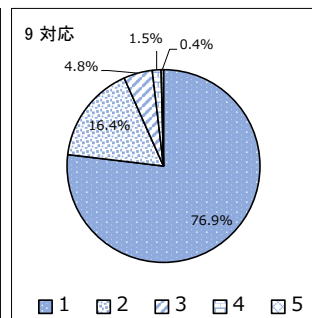
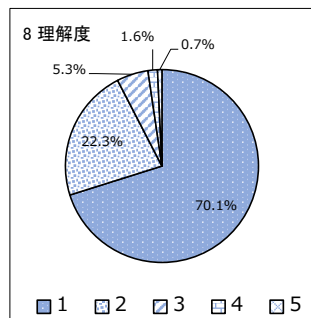
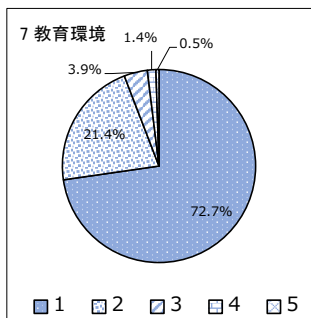
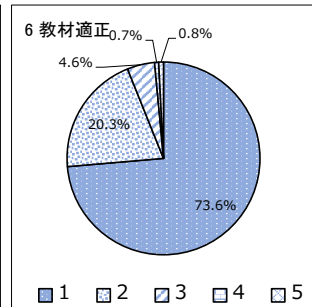
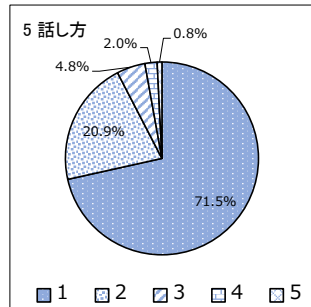
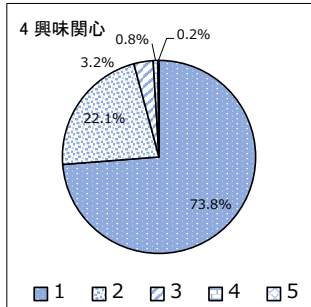
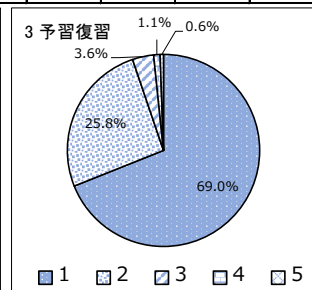
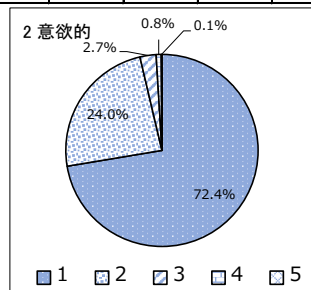
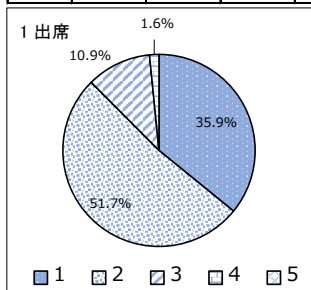
最も肯定的な 1 の回答が 70%代として、高かったのは「意欲的」「興味・関心」「話し方」「教材適正」「教

育環境」「理解度」「対応」「シラバス」「満足度」であり、次いで「予習復習」「目標達成」が60%代となり、「出席」が35.9%であった。特に同年度前期同様「対応」の評価は、最も肯定的な1の回答が76.9%の高評価であることから修学環境において本学の特色である少人数制の取り組みに効果があったと推測する。一方、「出席」を除く肯定的な1の回答が65%として、最も低かったのは新規の「目標達成」であり、修学の目標の一つとしてやや検討の必要な要素となった。また、「出席」設問を除く、11の設問中において否定的な4・5の回答が少数であるが存在している。特に率にして高いのは「話し方」であり、4・5の回答が全体の約2.8%(50件)の数値となった。今後、各科目において「対応」の良さを生かしながら修学状態を図るコミュニケーションが求められる。

まとめ

調査票件数: 1767

選択肢	1 出席	2 意欲的	3 予習復習	4 興味関心	5 話し方	6 教材適正	7 教育環境	8 理解度	9 対応	10 シラバス	11 目標達成	12 満足度
1	634	1278	1217	1301	1260	1296	1282	1238	1358	1358	1148	1287
2	913	423	456	389	368	357	378	393	290	323	519	360
3	192	48	63	57	84	81	69	93	85	71	84	73
4	28	15	19	14	36	12	25	28	26	7	13	33
5	0	2	10	3	14	14	9	13	7	2	2	5
	1767	1766	1765	1764	1762	1760	1763	1765	1766	1761	1766	1758



4 対象となる授業一覧

〈令和6年度後期 授業評価調査のための授業科目番号一覧〉

科目番号	講義名	担当教員	提出	学科
基礎科目				
1002	文学	松浦	○	保育・服飾美術
1004	日本国憲法	矢吹	○	保育・服飾美術
1005	教育学	秋川	○	服飾美術
1006	生命科学	土肥	○	保育・服飾美術
1008	心理学	澤田		保育・服飾美術
1013	情報機器の操作Ⅱ	大原	○	保育
1015	情報処理演習Ⅱ	大原	○	服飾美術
1017	英語Ⅱ（コミュニケーション）	松浦	○	保育
1018	英語Ⅱ（コミュニケーション）	松浦	○	服飾美術
1020	英語Ⅳ	松浦	○	保育・服飾美術
1022	フランス語Ⅱ	石井	○	服飾美術
1023	健康科学概論（1/4）	濱田	○	保育・服飾美術
1024	スポーツ（3/4）	濱田	○	保育・服飾美術
保育学科				
2002	教育原理	小久保	○	保育
2005	子ども家庭支援論	宮崎	○	保育
2006	社会的養護Ⅰ	宮崎	○	保育
2008	教育の制度と社会	小久保	○	保育
2010	発達心理学Ⅱ	長櫓・平岡	○	保育
2011	幼児理解の理論と方法	長櫓	○	保育
2013	子どもの食と栄養	小野	○	保育
2014	特別支援教育	眞次	○	保育
2015	教育相談	長櫓	○	保育
2019	健康の指導法	濱田	○	保育
2020	人間関係の指導法	木戸	○	保育

2021	環境の指導法	大江	○	保育
2022	言葉の指導法	浅野	○	保育
2025	造形表現の指導法	児玉	○	保育
2032	幼児と表現	浅野・児玉・濱田・三川	○	保育
2033	幼児と器楽表現Ⅰ 青木	青木		保育
2034	幼児と器楽表現Ⅰ 高須	高須	○	保育
2035	幼児と器楽表現Ⅰ 中田	中田	○	保育
2036	幼児と器楽表現Ⅰ 山	山	○	保育
2037	幼児と器楽表現Ⅰ 田中	田中	○	保育
2038	幼児と器楽表現Ⅰ 野村（別府）	野村（別府）	○	保育
2039	幼児と器楽表現Ⅱ 横溝	横溝	○	保育
2040	幼児と器楽表現Ⅱ 高須	高須	○	保育
2041	幼児と器楽表現Ⅱ 中田	中田	○	保育
2042	幼児と器楽表現Ⅱ 山	山	○	保育
2043	幼児と器楽表現Ⅱ 青木	青木	○	保育
2044	幼児と器楽表現Ⅱ 田中	田中	○	保育
2045	幼児と器楽表現Ⅱ 長岡	長岡	○	保育
2046	幼児と器楽表現Ⅱ 野村（別府）	野村（別府）	○	保育
2047	幼児と歌唱表現Ⅰ	三川	○	保育
2051	児童文化学	浅野	○	保育
2052	乳児保育Ⅰ	平岡	○	保育
2054	子どもの健康と安全	平岡	○	保育
2055	障がい児保育	眞次	○	保育
2057	子育て支援	眞次	○	保育
2059	保育実習Ⅰ（2）	宮崎・長櫓	○	保育
2062	保育実習法Ⅰ	宮崎・長櫓	○	保育
2066	教育実習	小久保	○	保育
2068	保育・教職実践演習	小久保・木戸・長櫓	○	保育
2069	総合演習 浅野	浅野	○	保育
2070	総合演習 木戸	木戸	○	保育
2071	総合演習 小久保	小久保	○	保育

2072	総合演習 児玉	児玉	○	保育
2073	総合演習 長櫓	長櫓	○	保育
2074	総合演習 濱田	濱田	○	保育
2075	総合演習 平岡	平岡	○	保育
2077	総合演習 松浦	松浦	○	保育
2078	総合演習 眞次	眞次	○	保育
2079	総合演習 三川	三川	○	保育
2080	総合演習 宮崎	宮崎	○	保育
服飾美術学科				
3002	アパレル総論	榊原・児島・大川・高杉・前田・大原・岩崎	○	服飾美術
3007	服飾造形実習Ⅱ	乾	○	服飾美術
3010	服飾造形実習Ⅳ	乾	○	服飾美術
3012	パターンメイキング(CAD)Ⅰ	武永	○	服飾美術
3016	手工芸	高橋(敏)		服飾美術
3022	服飾材料学	道明	○	服飾美術
3023	服飾材料学実験	道明	○	服飾美術
3025	服飾人間環境学実験	佐藤(希)	○	服飾美術
3027	ファッション企画論	西田・松田・武健・田代・高田・安田・福川	○	服飾美術
3028	身体科学論	迫		服飾美術(R6開講)
3029	ビジネス基礎	岩崎・大原	○	服飾美術
3031	簿記論	増子	○	服飾美術
3032	マーケティング論	岩崎	○	服飾美術
3033	消費者行動論	岩崎	○	服飾美術
3035	マーケティング戦略論	岩崎	○	服飾美術
3037	基礎経済学	田鹿	○	服飾美術
3038	地域産業論	塚本		服飾美術
3039	まちづくり論	西川	○	服飾美術
3041	現代アート&デザイン史	趙	○	服飾美術
3045	モードデッサンⅡ	趙	○	服飾美術
3046	現代芸術造形論	趙	○	服飾美術
3051	クリエイション演習	上村	○	服飾美術

3053	デザイン・アート論	上村・田中他	○	服飾美術
3057	染織Ⅱ	田中	○	服飾美術
3058	染色	田中	○	服飾美術
3061	ビジュアルデザインⅢ	軸原	○	服飾美術
3062	ビジュアルデザインⅣ	佐藤（豪）	○	服飾美術
3065	表現演習	松内	△	服飾美術
3067	ディスプレイデザイン演習	松内	△	服飾美術
3071	インターンシップⅡ	服飾美術学科全教員（岩崎）	○	服飾美術
3072	課題研究 乾	乾	○	服飾美術
3073	課題研究 岩崎	岩崎	○	服飾美術
3074	課題研究 上村	岩崎	○	服飾美術
3075	課題研究 大原	岩崎	○	服飾美術
3076	課題研究 佐藤	岩崎	○	服飾美術
3077	課題研究 武永	岩崎	○	服飾美術
3078	課題研究 田中	岩崎	○	服飾美術
3079	課題研究 趙	岩崎	○	服飾美術
3080	課題研究 松内	岩崎	△	服飾美術
3081	課題研究 道明	岩崎	○	服飾美術
3083	卒業研究 乾	岩崎	○	服飾美術
3084	卒業研究 岩崎	岩崎	○	服飾美術
3085	卒業研究 上村	岩崎	○	服飾美術
3086	卒業研究 大原	岩崎	○	服飾美術
3087	卒業研究 佐藤	岩崎	○	服飾美術
3088	卒業研究 武永	岩崎	○	服飾美術
3089	卒業研究 田中	岩崎	○	服飾美術
3090	卒業研究 趙	岩崎	○	服飾美術
3091	卒業研究 松内	岩崎		服飾美術
3092	卒業研究 道明	岩崎	○	服飾美術
専攻科・関連科目				
4004	スポーツ2	濱田	○	保育臨床専攻

4005	生活福祉論	宮崎	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻（服美専門）
4012	ビジュアルデザイン演習	ウォルトン	○	服飾美術専攻
4014	ドローイングⅡ	野村	○	服飾美術専攻
保育臨床専攻				
5002	幼児の音楽遊び演習Ⅱ	三川	○	保育臨床専攻（R6 開講）
5006	音楽指導法特別演習Ⅰ	別府	○	保育臨床専攻
5008	造形指導法特別演習Ⅰ	児玉	○	保育臨床専攻
5010	身体・運動指導法特別演習	濱田	○	保育臨床専攻（R6 開講）
5013	比較教育特論	小久保	○	保育臨床専攻
5018	保育・教育臨床心理学実践特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5019	児童文化特論	浅野	○	保育臨床専攻
5020	幼稚園体験活動	神崎	○	保育臨床専攻
5022	専門英語文献講読	松浦	○	保育臨床専攻
5026	親子支援演習	木戸	○	保育臨床専攻
5027	子どもの音楽療法	三川	○	保育臨床専攻
5028	障がい児保育特論	眞次	○	保育臨床専攻
5030	子育て支援実習	眞次	○	保育臨床専攻
5032	特別研究Ⅰ 木戸	木戸	○	保育臨床専攻
5033	特別研究Ⅰ 小久保	小久保	○	保育臨床専攻
5034	特別研究Ⅰ 児玉	児玉	○	保育臨床専攻
5037	特別研究Ⅰ 平岡	平岡	○	保育臨床専攻
5039	特別研究Ⅰ 松浦	松浦	○	保育臨床専攻
5042	特別研究Ⅰ 宮崎	宮崎	○	保育臨床専攻
5044	特別研究Ⅱ 木戸	木戸	○	保育臨床専攻
5045	特別研究Ⅱ 小久保	小久保	○	保育臨床専攻
5048	特別研究Ⅱ 濱田	濱田	○	保育臨床専攻
5049	特別研究Ⅱ 平岡	平岡	○	保育臨床専攻
5051	特別研究Ⅱ 松浦	松浦	○	保育臨床専攻
5052	特別研究Ⅱ 眞次	眞次	○	保育臨床専攻
服飾美術専攻				
6001	生活文化環境論	服美全教員	○	服飾美術専攻

6004	服飾造形実技Ⅰ	武永	○	服飾美術専攻
6006	服飾造形実技Ⅲ	武永	○	服飾美術専攻
6008	手工芸演習	高橋（敏）		服飾美術専攻（R6 開講）
6010	被服衛生学	佐藤	○	服飾美術専攻（R6 開講）
6012	被服生理学実験	佐藤	○	服飾美術専攻
6013	アパレル材料科学実験	道明	○	服飾美術専攻（R6 開講）
6019	ブランド論	岩崎	○	服飾美術専攻
6023	デザインマネジメント	趙	○	服飾美術専攻（R6 開講）
6026	テキスタイルデザイン論	田中	○	服飾美術専攻（R6 開講）
6029	工芸染織	田中	○	服飾美術専攻
6030	染色実習	田中	○	服飾美術専攻
6033	ライフプロダクト演習Ⅰ	上村	○	服飾美術専攻
6037	産業研修Ⅱ	服飾美術学科全教員（岩崎）	○	服飾美術専攻
6040	特別研究Ⅰ 岩崎	岩崎	○	服飾美術専攻
6042	特別研究Ⅰ 上村	上村	○	服飾美術専攻
6045	特別研究Ⅰ 佐藤	佐藤	○	服飾美術専攻
6047	特別研究Ⅰ 武永	武永	○	服飾美術専攻
6050	特別研究Ⅰ 趙	趙	○	服飾美術専攻
6051	特別研究Ⅰ 松内	松内	△	服飾美術専攻
6055	特別研究Ⅱ 乾	乾	○	服飾美術専攻
6056	特別研究Ⅱ 岩崎	岩崎	○	服飾美術専攻
6058	特別研究Ⅱ 上村	上村	○	服飾美術専攻
6060	特別研究Ⅱ 佐藤	佐藤	○	服飾美術専攻
6061	特別研究Ⅱ 武永	武永	○	服飾美術専攻
6063	特別研究Ⅱ 趙	趙	○	服飾美術専攻
6064	特別研究Ⅱ 松内	松内	△	服飾美術専攻

※提出欄 △：アンケート調査のみ実施

5－1 授業評価票（別紙 1）

2025 後期 倉敷市立短期大学 授業評価 調査票

この授業評価調査は、講義内容の一層の充実と教材の開発・授業方法の改善を行うとともに、学生みなさんの学習意識の自覚を喚起し、教員と学生の協働の下で、より質の高い授業を創造していくことを目的としています。あなたの成績評価とは全く関係ありませんので、建設的な気持ちで以下の問いにお答えください。なお、回答はすべて統計的に処理され、プライバシーが損なわれたり、本学での生活に不利益が生じたりすることはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・ 授業評価への回答は、5～10 分で終わります。
- ・ 授業評価への回答は自由意思によります。回答しなくとも不利益を被ることはありません。
- ・ 無記名でメールアドレスの収集もしないため、個人が特定されることは一切ありません。
- ・ 結果の管理は厳重に行い、保管する必要がなくなった時点で完全に破棄します。
- ・ 集計結果は、学内向けに公表する予定です。

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

授業科目名：○○○○

科目番号：○○○○

回答期限：令和・年・月・日（ ）まで

(1) あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 欠席しなかった
2. 1～2 回欠席した
3. 3～4 回欠席した
4. 5 回以上欠席した

(2) あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 意欲的に取り組んだ
2. どちらかというと、意欲的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、意欲的に取り組まなかった

5. 意欲的に取り組まなかった

(3) あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 積極的に取り組んだ
2. どちらかという、積極的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかという、積極的に取り組まなかった
5. 積極的に取り組まなかった

(4) あなたは、授業を受けてみて、この分野への興味・関心が深まりましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 興味・関心が深まった
2. どちらかという、興味・関心が深まった
3. どちらともいえない
4. どちらかという、興味・関心が深まらなかった
5. 興味・関心が深まらなかった

(5) 教員の話し方は、明瞭でわかりやすいものでしたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切だった
2. どちらかという、適切だった
3. どちらともいえない
4. どちらかという、適切ではなかった
5. 適切ではなかった

(6) 使用テキスト、副教材（資料プリント等を含む）は、適切だと思いましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切だった
2. どちらかという、適切だった
3. どちらともいえない

4. どちらかという、不適切だった

5. 不適切だった

(7) 授業を行う上での機器や機材等の教育的環境は、満足できるものでしたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 満足できた

2. どちらかという、満足できた

3. どちらともいえない

4. どちらかという、満足できなかった

5. 満足できなかった

(8) 授業の内容は、わかりやすく理解しやすかったですか。

(1 つだけマークしてください。)

1. わかりやすく理解しやすかった

2. どちらかという、わかりやすく理解しやすかった

3. どちらともいえない

4. どちらかという、わかりにくく理解しにくかった

5. わかりにくく理解しにくかった

(9) 教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応してくれましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切に対応してくれた

2. どちらかという、適切に対応してくれた

3. どちらともいえない

4. どちらかという、不適切な対応だった

5. 不適切な対応が多かった

(10) シラバスに基づいて授業を展開しましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. シラバスに基づいて展開した

2. どちらかという、シラバスに基づいて展開した

3. どちらともいえない

4. どちらかというと，シラバスに基づいての展開ではなかった
5. シラバスに基づいての展開ではなかった

(11) あなたは，シラバスに記載されているこの授業の到達目標を達成できましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 達成できた
2. ある程度達成できた
3. どちらともいえない
4. あまり達成できなかった
5. 達成できなかった

(12) あなたは，総合的に判断して，この授業に満足しましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 満足した
2. どちらかというと，満足した
3. どちらともいえない
4. どちらかというと，満足していない
5. まったく，満足していない

・その他，気づいたことがあれば，自由に書いてください。

5-2 「自己点検レポート」(サンプル)(別紙2)

令和6年度 後期授業評価：自己点検レポート		
		担当教員氏名〔 〕
学科・専攻名〔 〕	学科／	専攻〔 〕
授業評価 科目名〔 〕	授業番号〔 〕	
* 提出期限：データ・紙媒体 <u>令和7年2月28日(金)</u>		
提出について(データファイルと紙媒体の両方)		
・データファイル：		
提出先：令和6年度大学活動推進委員会の指定したグーグルドライブ先へ格納(依頼書をご参照いただき、wordファイルで提出)		
提出内容：ファイル名「授業自己点検 rep」の前に「 <u>授業番号・氏名・教科名</u> 」をつけてください。		
・紙媒体：印刷したレポートの1部を事務局においてある提出箱に入れてください。		
※ 字数：1については <u>200字程度</u> (必ず記入)，2については <u>100字程度</u> (必ず記入)，3は制限なし。		
※ 複数ページになる場合には，印刷は <u>両面印刷</u> としてください。		
1. 前回と比較して，今回の授業評価結果について分析し，その結果を踏まえて，今後の授業改善に向けての具体的な取り組みを記入してください。		
2. シラバスに記載された学修到達目標に対する学生の到達度の状況を記入してください。		
3. 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題及び，今回の授業評価の実施方法等に関する意見		

2025 年 10 月 3 日

倉敷市立短期大学 令和 7 年度 大学活動推進委員会

保育学科 : 松浦 加寿子, 宮崎 正宇

服飾美術学科 : 趙 採沃, 上村 晴彦, 田中 孝明

事務局 : 清水 綾子

編集担当 : 田中 孝明, 松浦 加寿子